



大 輪

発行：島根県社会福祉協議会内
 島根県知的障害者施設保護者会連合会
 松江市東津田町 1741-3
 いきいきプラザ島根 5 F
 TEL 0852-32-5976 FAX 0852-32-5982

VOL. 40

平成 29 年 8 月発行

「再度、障害者施設及び保護者に対し警鐘か？」

島根県知的障害者施設保護者会連合会運営委員 美濃地 淳二

7月13日午後3時25分ごろ、埼玉県上尾市戸崎にある、知的障害者通所施設「コスモス・アース」から、送迎用のワゴン車の中で人が倒れていると119番がありました。施設を利用する同市の男性（19歳）が病院に搬送されたが、死亡されました。熱中症の可能性が高いという。職員が送迎車から降ろし忘れ、約6時間車内に残されたとみられている。このような新聞記事が翌日の7月14日に載りました。昨年7月発生した相模原市での悲惨な殺傷事件とは根本的に事件の質が異なりますが、この事件については、「なぜこんなことになるのか？」と次のように思いました。

1. 送迎車の運転手（職員）は、確認しなかったのか？
2. 施設の職員は、障害者の自立支援をサポートしているのに、出勤者を把握していないのか？
チェックしていないのか？
3. 他の職員が作業のとき参加していないことに、気が付かなかったのか？
4. 欠勤の際、保護者に対して理由を聞かないのか？

以上のことが、ありえない事故と誰も思ってしまっていて、チェックすることが職員全員になかったのではないのでしょうか。男性は、自力で歩けるが、知的障害があり自分で車から出ることが出来ず、大声を出して助けてくれとも言えなかったのでは？と考えられます。

施設のホームページでは、「障害のレベルや性格に合わせて無理なく楽しく作業をすることができるよう、障害者の自立支援をサポートします」として、農作業などを行っている施設だそうです。出勤簿などで欠勤を確認すると、保護者に休んだ理由等の連絡をとることが普通だと思います。大袈裟かもしれませんが、命を預かる施設が、しなければいけないチェックだと考えます。

保護者は、施設に預けていて、安心していませんか？最近では、何があるかわかりません。いろんなことを想定して施設に対して、お願いしましょう。今回のような、どこかでチェックがあると防げる事故があります。

入所施設においては、一～二か月程度に一回は、利用者とのふれあいと同時に施設との意見交換会をして、安全・安心について、お願いも含め意見を言ってください。そのためには、施設の行事に、率先して参加してください。

今回の事故は、施設及び保護者に対しての警鐘です。

■ 平成29年度 島根県知的障害者施設保護者会連合会研修会 ■

平成29年7月13日、14日に島根県民会館において、島根県知的障害者福祉協会と共催で『第59回中国四国地区知的障害者関係施設職員研究協議会』を開催いたしました。

参加者数：約565名 うち保護者会連合会員31名

内容：1日目 ①中央情勢報告

②基調講演 演題「累犯障害者の現実について」

講師 山本 譲司 氏 作家・元衆議院議員

③記念公演 社会福祉法人いわみ福社会芸能クラブによる「石見神楽」

演目：八岐の大蛇

2日目 分科会

1. 児童期の発達支援分科会

子どもたちが地域で豊かに育つための支援を考える

2. 施設入所支援分科会

高齢知的障がい者への支援を考える

3. 生活介護と日中活動支援分科会

生きがいややりがいを感じる日中活動を考える

4. 働き方支援分科会

「働く」ということをみつめなおす～働くことの主体者として～

5. 地域生活を支える分科会

本人が望む暮らしを住み慣れた地域で実現する

6. 特別分科会

今こそ共生社会について考える

【講演】

演題：「今こそ共生社会について考える」

講師：高山 直樹氏 東洋大学社会学部教授

【シンポジウム】

コーディネーター：高山 直樹氏 東洋大学社会学部教授

シンポジスト：佐藤 力氏 弁護士

串崎 昭徳氏

島根県知的障害者施設保護者会連合会副会長

田原 秀樹氏

島根県福祉教育推進協議会副会長



感想

～第59回中国・四国地区知的障害関係施設職員研究協議会に参加して～

障害者支援施設愛香園 信和会会長 高野 啓子

7月13～14日、島根県民会館にて約600名の参加で研究協議会が開催されました。1日目は日本知的障害者福祉協会の橋会長より、中央情勢報告があり、続いての基調講演では、「累犯障害者の現実について」の演題で山本譲二氏の講演がありました。最後は社会福祉法人いわみ福祉会芸能クラブによる記念公演で、石見神楽の演目「八岐の大蛇」がありました。とても迫力があり素晴らしい演技で何度も拍手をしました。10月にはパリの公演も決定されたようです。

2日目は第6分科会にて実践発表等が開催され、私は特別分科会に参加しました。津久井やまゆり園の事件について考える意識深い研修会となりました。初めはミニ講演、「今こそ共生社会について考える」の演題で高山直樹氏がお話しされました。その後、弁護士の佐藤力氏、島根知的障害者施設保護者会連合会の申崎副会長、島根県福祉教育推進協議会の田原副会長のシンポジストの発表とディスカッションがありました。その中で意思決定と自己決定の違いを話され、それを私に置き替え考えた時、私は兄に対して今までどうだったのか？と思いました。兄の為と思ってしていたことが、実際は兄の思いとは違っていただけではないかと考え始めています。

最後になりますが、この2日間は私にとって高度な脳の活性化になり、兄との関わりを再度考え直すチャンスとなり、とても良い勉強となりました。

他団体の研修案内

◇第55回全国知的障害福祉関係職員研究大会 愛知大会

開催日：平成29年9月27（水）～29日（金）

会 場：名古屋国際会議場

大会テーマ：「共にくらし 共にそだつ」

～多様な価値の共感から、新たな価値の創造へ～

◇第6回手をつなぐ育成会中国・四国大会

手をつなぐ育成会「すまいる大会」徳島大会

開催日：平成29年11月11日（土）～12日（日）

会 場：徳島グランヴィリオホテル（一般大会）

ザ・グランドパレス（すまいる大会）

【大会スローガン】

一般大会：～阿波の国とくしまから Re Start！

育成会活動の原点にかえろう！！活動の強化と継続を～

すまいる大会：かがやけ 阿波おどりらしく 徳島

申込み締切日：平成29年9月15日（金）

◇第29回島根県スポーツ・レクリエーション祭

しまねレクリエーションフェスティバル

開催日：平成29年11月18日（土）13：00～16：00

会 場：島根県立体育館（浜田市）

施設保護者会活動状況



希望の園

障害者支援施設 希望の園 保護者会会長 石田 正美

〔障害者支援施設 希望の園の概要〕

昭和53年1月3日に精神薄弱者入所授産施設として開所しました。（民間の精神薄弱者入所授産施設としては島根県では第1号）

平成11年4月1日に知的障害者授産施設、平成23年4月1日に障害者支援施設に名称変更をしています。

保護者会は希望の園が開所した年の昭和53年3月に発足しました。

〔事業内容と定員〕

・施設入所支援事業	30名
・生活介護事業	40名
・就労継続支援B型事業	33名（パン、クリーニング）
・就労移行支援事業	6名
・短期入所事業（併設型）	2名
（空床型）	居室の空状況による
・日中一時支援事業（併設型）	2名
（空床型）	本体施設の運営に影響のない人数

〔関連のある事業の内容〕

- ・共同生活援助事業 開花寮・湧泉寮・拓心寮 各8名（松江市矢田町）
かがやき・せせらぎ・あっぱれ 各6名（松江市東津田町）
- ・相談支援事業所 ねくすと

〔保護者会の主な活動内容〕

- 4月 保護者会総会（前年度事業報告・決算報告、新年度事業計画・予算案審議）
- 6月 保護者研修会（施設見学等）
- 9月 希望の園まつりを主催し施設と一緒に地域との交流をはかるための活動
- 10月 職員と家族との親睦会の開催

〔保護者会の課題〕

利用者の高齢化も進んでいますが、保護者の高齢化も同じように進んでいます。必然と保護者会の活動に参加できない状況も増えてきました。また、新しく加入された保護者の方々の参加が少ないのも事実です。保護者の皆さん一人一人が興味を持って参加して頂けるような活動を計画し、保護者会の活性化を図っていかねばと考える次第です。